

題名：腹腔鏡による子宮全摘手術を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	vNOTES（経腔的腹腔鏡下手術）による子宮全摘術の適応決定におけるダグラス窩癒着の術前 MRI 評価に関して (2024-32)
当院の研究責任者 (所属)	鈴木琴音（産婦人科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	腹腔内（特にダグラス窩と言われる骨盤の奥）に癒着がある場合、vNOTES 手術（経腔的腹腔鏡下手術）の際には腸管損傷などの合併症のリスクが高くなります。本研究により、ダグラス窩の癒着がある場合に、術前 MRI 検査でどのような所見を認めるかを調べることで、より正確な術前評価を行い、より適切な術式決定を行うことができるようになりますと考えられます。これにより、手術の合併症を減らすことが本研究の目的です。
研究の方法 (利用する試料・情報)	腹腔鏡による子宮全摘術を受けた患者さんが対象となります。それぞれの方の、術前 MRI 検査結果や術中所見（癒着の有無や出血量、手術にかかった時間、摘出した検体の重量など）、年齢、BMI、診断名などの情報を収集し、解析します。 研究実施期間：2024 年 12 月～ 2025 年 3 月
利用する試料・情報の 該当期間	2020 年 4 月～ 2024 年 7 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	特にありません。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

(利益相反)	
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：鈴木琴音 (所属：産婦人科)
備考	